

アイキャンだより 2005年5月 第38号



2005年度の活動紹介

パヤタスでの活動	野村	p2
サンイシロの活動	野村	p3
ボランティアさんに活躍の場を!	希代	p4
国際理解教育ワークショップ	希代	p5

連携団体の不正と体制の変更

(経過報告とお詫び)	龍田	p6
------------	----	----

2005年度 総会報告

事務局からのお知らせ	市川	p8-9
(スタッフの交代、新しいロゴ&HP、イベント情報)		
初心者のためのフィリピン講座	里村	p10
新規会員、会員継続、寄付者のご紹介		p11
会員募集! ボランティア大募集!		p12



パヤタスの子ども達が2泊3日でサンイシロに遠足に行きました。
都会で暮らす子どもと山村で暮らす子どもが、お互いの友情を深め合う楽しいひとときを過ごしました。

I C A N (アイキャン) 特定非営利活動法人アジア日本相互交流センター

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPO プラザなごや2F

TEL&FAX 052-582 2244 E-mail: info@ican.or.jp

ホームページ: <http://www.ican.or.jp/>

2005 年度の活動紹介

パヤタスでの活動

報告 野村幸代(マニラ事務局)

2000 年、パヤタスゴミ処理場では、ゴミ山が崩れ住民数百名が犠牲なる大災害がありました。このときに、危険なゴミ山での仕事(ゴミの中から再利用できる物を探して売る仕事)以外に収入を得られる道を開くために、ICAN は住民女性たちを対象に職業訓練支援プログラムを開始しました。5 年経った今、このプログラムに参加した女性達を中心に SPNP(パヤタスの頑張る母親達)という組織が立ち上がり、今年度は組織として ICAN から独立しようとしています。そのためにマーケティングや組織運営能力向上のための研修を ICAN が行います。



SPNP の女性たち

SPNP が ICAN から独立するというのは、どういうことでしょうか。最終的には ICAN なしで、SPNP が自主運営を続けていけるようになることを目指しています。それには、いくつかの条件が必要でしょう。ひとつは、組織としての形を整えること。公の組織として政府に登録するために様々な書類を彼女達は準備しなければなりません。組織の規則をつくるのもそのひとつです。しかし、外側の箱だけができて、内容がなければ無意味です。メンバーのひとりひとりが、「我われの組織」をつくり、力を合わせて協働することの意義を共有していなければなりません。メンバーの中には、その日暮らしがやっとなという厳しい生活状況の中にいる人や、これまである組織の中で責任ある仕事を担い広い社会に貢献していく経験を持ち得なかった人もいます。彼女達にとって、これまで「組織」は恩恵をただ与えてくれるものであって、自分はただの受益者だったかもしれません。自分が積極的な行為者として自信と責任をもって、「組織」を動かしていくようになるには、ある程度のプロセスとオリエンテーションが必要になるでしょう。



メンバーとミーティングをする野村さん

実際、メンバー内での嫉妬や内輪もめもときには起こります。しかし、それらを超えて、彼女達が「我われの組織」のしたいことを、実現していくかが、彼女達の今年度の挑戦です。自分のため、自分の家族のため、だけでなく、広くコミュニティのために協同することの意義をいかに彼女達に伝えていけるかが、ICAN の挑戦でもあります。

SPNP の研修以外にも、まわりの住民対象にも副収入につながる職業訓練を行います。

昨年度に引き続き、パヤタスでは、医療、栄養、青少年活動などのプログラムも行っていきます。

サンイシロでの活動



今年のサンイシロの奨学生たち

マニラ事務所のあるメトロマニラ・ケソン市から、北東の方向に約 1 時間行くと、リサール州の中心地アンティポロに着きます。そこから、サンイシロへのジープは 1 日 1 本。舗装されていない山道を 2 時間くらい走ると、山村サンイシロに着きます。サンイシロは、レモンダスあるいはドゥマガットと呼ばれる山地先住民族と、低地から移ってきた移住民とが、混在している地域です。ドゥマガット族は、一般的に肌の色が黒く縮れ毛で背が比較的低い、という身体的特徴があります。低地民からは、差別を受けることの多い存在です。サンイシロは、カヌマイ、リビス、カヌガン、タヤバサンの 4 つの部落からなっており、ICAN はリビスで 1999 年から支援活動を行っています。

今年度は、教育支援として 14 人の高校生、1 人の大学生を支援します。リビスには、先住民と低地民との混血の家族も多く住んでいますが、経済状態や社会的弱者という点を考慮して、ICAN は先住民の子どもを家族からひとり支援するという方針をとっています。4 月初めに奨学生の保護者に説明会を行い、コミュニティに貢献できる人材を育てることが ICAN の教育プログラムの目的であることや、子どもの教育の為に両親と ICAN がともに助け合うことの大切さを伝えました。両親たちはこれらの趣旨に納得した様子で、子どもたちに親として望むことを尋ねると、「社会性を身につけて欲しい」「しっかり勉強して欲しい」「あまり早く結婚してほしくない」などという声があがっていました。今年からはじめて大学生をひとり支援します。彼は大学で農業を専攻し、学んだことを村に持って帰って実践したいという夢をもっている若者です。是非、夢を実現し村の期待に答えてほしいものです。



自然いっぱいのサンイシロ
子ども達は水牛に乗って遊んでいる

昨年に続いて、今年も村の人々の消費用あるいは、副収入につなげるものとして、家庭において植樹事業を行います。サンイシロの山々は、みごとにはげ山となっています。違法の伐採業者がすべて持って行ってしまったのです。悲しいことにその住民達もその伐採業者に雇われて、木を次々に切り出してしまった事実もあります。それが、彼らの少ない現金収入源のひとつだったわけです。山々の土壌の侵食が進むと土地がやせて収穫が減り、住民の生活が苦しくなります。さらに、台風が来ると激しい濁流が村を襲う可能性もあります。これらは今後の村の課題といえるでしょう。

また村には病院がなく、子どもたちに対する予防接種や虫下しの薬投下の必要性が見られており、現在適切な医療サービスの可能性を探っているところです。さらに、MASAKA という住民組織を通して、農業技術向上、収入向上のための事業を模索していきます。1 年のうち食料がひどく不足する時期もあり、住民のごく基本的な生活の必要も満たされていない状況にあります。このような多くの問題を改善すべく、住民たちとともに対策を考えていくことが、今年度の ICAN の課題です。

ボランティアさんに活躍の場を！

報告 希代翔（日本事務局）

初めまして。4月より、日本事務局でスタッフとして働いている希代翔(きたいしょう)と申します。2年ほど前から南山大学のチャリティーコンサートの企画や、国際理解教育の教材作りなどで、ボランティアとして ICAN に関わってきました。

現在は、主に国際理解教育とフェアトレードを担当しています。ボランティアの皆さんが、積極的に活動に参加できるように、雰囲気やしぐみ作りに力を入れていきたいと思います。事務局や翻訳ボランティアの他に、以下のような活動を考え、「何かをはじめたい！」と思っている方々が、活躍できるようにしていきます。

1、国際理解教育ボランティアチーム

学校への講師派遣や、学校からの事務所訪問への受入れなどを、ボランティアチーム制で進めています。国際理解教育の連続講座(*詳細は5ページ)も、このチームで運営しています。

2、会報編集ボランティア

会報のレイアウトや記事の構成など編集全般に関わって頂きます。この作業はメールで分担すること可能です。自宅できるからボランティアです。

3、WEB 管理維持ボランティア

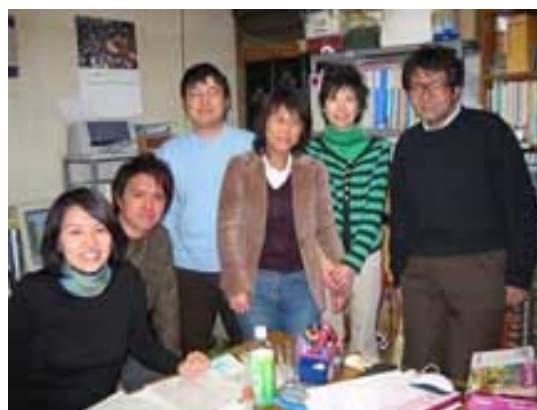
公式ホームページの更新や事務局からの情報発信(右より龍田、起橋、花房、山田、希代、市川)の更新を手伝って頂きます。

4、フェアトレード促進ボランティア

商品を置いて頂ける店舗の新規開拓、ブース出展、WEBのフェアトレードショップの管理などフェアトレードの活動に関わって頂ける方も募集しています。6月からは毎週末にイベントに参加します。各イベント出展時のボランティアさんも常時募集していますので、ご興味のある方は、事務局までお問合せ頂くか、ホームページ(<http://www.ican.or.jp/>)のイベント情報をご覧ください。

5、スタディツアー企画ボランティア

過去のスタディツアー参加者にも協力して頂いて、スタディツアーの企画を作っています。事前・事後勉強会も、ボランティアの皆さんと事務局とが連携を取りながら実施します。



日本事務局一同お待ちしております！

ボランティアには、特別な資格や経験は全く必要ありません。ボランティア経験がない方でも、もちろん大丈夫です。思いがある方でしたら、どなたでもご参加いただけます。

何かをはじめようと思い立った方、是非この機会に、ボランティアに参加してみませんか？

ICANは会員およびボランティアの皆様のご協力で活動が成り立っています。携わる方が増え、活動が活発になるように、ボランティア情報を提供していきます。またメーリングリストや事務局のブログでも、皆さまに耳寄りな情報をお届けしています。メーリングリストの配信をご希望される方は、事務局までご連絡ください。今後とも、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

国際理解教育ワークショップ

～誰もが楽しく、わかりやすく学ぶ！連続4回講座！～

ICANでは、国際理解教育ワークショップの連続4回講座を企画しました。誰もが楽しく、わかりやすく、『国際協力』を学びます。全くの初心者も、これまで様々な場所で実際に国際理解教育に携わっている人も誰もが満足できる内容をご用意し、お待ちしております。

「ICANを知らない私でも大丈夫？」

「はい、初心者のあなたも、大丈夫です。」

「国際理解教育を実践してみたいのですが...」

「次のステップを踏みたい、あなたにも最適です。」

「すでにいろいろな経験を積んでいるけど...」

「あなたにも新しい発見があるはずです。」

興味をお持ちの方なら、どなたでもお気軽にご参加いただけます！

皆さまのご参加、お待ちしております。

【講座内容】(部分参加可能)

第1回

5月28日(土) 13:30～15:30

『What's 国際理解教育？～フィリピンとはどんな国か～』

ワークショップの手法に慣れていただくためのウォーミングアップの講座です。
フィリピンってどんな国か知っていますか？ICANとはどんな団体かも教えます。

第2回

6月11日(土) 13:30～15:30

『体感！フィリピンのある家庭～貧困から見えるもの～』

ICANの活動場所・パヤタス地区。そこには巨大なゴミの集積所があります。
その周辺で暮らす人々の生活から、『貧困』について一緒に考えてみませんか？



実際にワークショップをしながら
講座の企画をボランティアチームで
練っています。

第3回

6月25日(土) 13:30～15:30

『グローバル化のよし悪し

～日本とフィリピンとのつながり～

毎日、口にしている食べ物。お店に並ぶまでの過程
を知っていますか？その仕組み・グローバル化
について触れて、考えてみましょう！

第4回

7月9日(土) 13:30～15:30

『私たちができることって何？～提案！

フェアトレード～』

連続講座のまとめです。日本からできることをみんな
で考えます。ICANからも提案があります。
フェアトレードって、何か知っていますか？

参加費(各回):500円(部分参加可)

開催場所:NPO プラザなごや4F 会議室

定員:30名(申込み順)

お申込み・お問合せ先:

電話・FAX(052-582-2244)またはメール(info@ican.or.jp)にて。

連続講座終了後、8月下旬にフィリピンを訪問する
海外研修ツアーを実施します！
詳しくは、事務局のお知らせ(p10)にて。

里親事業における連携団体の不正と体制の変更

(お詫びと経過報告) 代表理事 龍田 成人

ICANは、ミンダナオ島ジェネラルサントス市における里親事業を、現地支援団体「Love and Life, Inc. (以下、L&L)」を通して実施して参りましたが、本年の2月に監査に入りましたところ、L&Lの運営において不正が行われていることが判明し、3月末をもってL&Lとの提携関係を打ち切りました。下記のようにご報告申し上げるとともに、皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

現在、私どものスタッフが、不正の再発防止を図るとともに、より質の高い事業を行うため、新しい事業体制の確立に向けた努力を続けております。何卒ご理解くださるようお願い申し上げます。

記

1. これまでの経緯

- (1)2004年9～11月 L&Lの不正について、断片的な情報がもたらされる。
- (2)2004年12月 L&Lの運営について調査を開始(2月の監査まで継続)。
- (3)2005年2月末 L&Lの監査を実施。状況証拠から不正の事実を確認。
- (4)2005年3月末 L&Lとの提携を終了。
- (5)2005年4月 引継ぎのため、スタッフを仮雇用し、里子の現状について確認調査を実施。
- (6)2005年5月 マニラ事務局の責任者が現地入りし、新体制の調整を実施。

2. L&Lの監査内容(2月25～28日)

代表理事の龍田、理事の伊藤も立会いのもと、L&Lの監査を実施。当初はジェネラルサントスで行う予定であったが、直前に爆弾テロが起きたため、L&Lのスタッフをマニラに呼び監査を実施した。

< 監査によって判明した事実 >

- (1)事業費の不正引き出し(借用)
- (2)領収書類の改竄、費用の不正請求
- (3)事業費で雇用している有給スタッフを、責任者の私的用に使用
- (4)L&Lの代表者の経営する商店での物品購入

* 以上から、L&Lとの提携を3月末で終了し、事業の引継ぎと残金の清算手続きを進めることとした。

3. 現地調査内容(4月15日～現在)

4月15日から、旧L&Lのスタッフ2名を仮に雇用し、引継ぎのための家庭訪問を実施し、これまでに大部分の子どもの存在場所、家族の収入、家族構成などを調査した。

- ・現在までに13名(大学生1名を含)がドロップアウトしたことがわかった。
- ・調査の結果、家族の収入が5000ペソ以下/月、兄弟数が5名以上、ジェネラルサントスに居住という3条件に該当しない子どもが多数いることがわかった。

4. マニラ事務局の責任者等による調整内容(5月5日～10日)

マニラ事務局の責任者の野村、ボランティアの佐藤さんが現地入りし、里子の家族への説明、事務所の仮開設、L&Lとの清算調整などを行った。

- 1)里子の家族への説明会 133軒の家庭が出席。体制の変更を説明した。
- 2)事務所の仮開設 ジェネラルサントス市の中心地付近に事務所スペースを確保した。
- 3)L&Lとの清算処理

物品の大部分は、既に新事務所へ移動済み。3月末時の残金(86399.81ペソ)は、9月から毎月4700ペソを、残金がなくなるまで返すことになった。

5. 今後の進め方

- 1)6月上旬に、再度、マニラ事務局の責任者がミンダナオ入りし、正式にミンダナオ事務所を開設。
- 2)ICAN-ML、会報、WEBへの報告とお詫び文、今後の対処方法の掲載。
- 3)7月3日(日)に臨時総会を開催。計画変更、予算の改定について説明し討議する。 以上

2005年度 総会報告

2005年2月12日(日)14時~17時に、NPO プラザなごや4F会議室にて、2005年の年次総会を開催しました。会場参加者6名、書面票決110名の116名の方にご出席いただき、総会は成立(定足数:会員総数210名の過半数)し、議案を審議の結果、2004年事業報告・決算案、2004年事業計画・予算案、役員人事案の全議案が可決されました。

2004年決算

経常収入	17,275,398円
会費収入	3,337,000円
寄付金収入	3,056,371円
事業収入	2,968,175円
補助金等収入	7,881,344円
その他	32,508円
他の資金収入	78,220円
総収入	17,353,618円

経常支出	15,918,532円
事業費	9,524,507円
管理費	6,315,402円
予備費	0円
その他	78,623円
他の資金支出	668,855円
*収支差額	766,231円は次期へ繰越。
総支出	17,353,618円

2005年予算

経常収入	16,082,000円
会費収入	4,272,000円
寄付金収入	2,700,000円
事業収入	3,000,000円
補助金等収入	6,100,000円
その他	10,000円
*余剰金の中から3,429,750円支出予定。	
総収入	19,511,750円

経常支出	19,511,750円
事業費	11,966,400円
管理費	5,545,350円
予備費	2,000,000円
総支出	19,511,750円

下記の通り、8名の理事と2名の監事が承認されました。任期は2年間です。

理事 --- 龍田成人、伊藤洋子、赤星千晶、早川潔、奥園由紀子、里村京子、花房範子、雨森孝悦
監事 --- 伊藤みどり、林俊彰

*これに伴い、これまで理事を務めていた松岡亜湖さんが退任されました。ありがとうございました。

また、各事業については下記のとおりです。

ミンダナオ島ジェネラルサントス市における里親・給食事業

日本人ボランティアや外務省専門調査員、調整員の派遣により、活動の充実を図るとともに、問題点なども調査しました。

マニラ首都圏バヤタス地区における医療・職業訓練支援事業

住民組織(SPNP)が立ち上がり、医療プログラム、職業訓練プログラムの活動全般で積極的に役割を担い、活動を行っていきようになりました。

リサール州山村サンイシロにおける山村教育支援事業

奨学支援を行っていた1人の高校生が昨年高校を卒業することができました。今後は大学進学を目指し、サンイシロで農業を行うために更に専門的な知識を身につけていくとのことです。

相互交流を促進する活動

国際理解教育では、国内で行う連続講座だけではなく、実施にフィリピンに行って国際理解を考える「フィリピン海外研修プログラム」を実施しました。

また、マニラではマニラ日本人学校の生徒さんとバヤタスの子ども達との交流会も行われました。

事務局からのお知らせ

報告 市川恵（日本事務局）

～伊藤さん、松岡さんありがとうございました！～



伊藤洋子さん。
パヤタス作業所にて。

これまで日本事務局を支えてくださった松岡亜湖さんも2004年12月をもって退職されました。

松岡さんは、事務局の仕事を一から築かれました。当時は、会報発送から会計からスタディツアーの企画まで、1人で担当され、大変だったと思います。多くのボランティアさんや会員さんとのつながりができたのも松岡さんのおかげです。本当にありがとうございました！

1999年5月より、フィリピンの活動を支えてくださった伊藤洋子さんが2005年3月をもって退職されました。

フィリピンの人たちのために献身的に動いてこられた伊藤さんは、パヤタスのコミュニティの中でも、特に住民の方々と常にコミュニケーションをとり、現地の人たちのために精力的に活躍されました。伊藤さんの優しさと、適切な厳しさがあつたからこそ、現地の活動が住民の方々の理解も得られながら進められるようになったのだと思います。

今後も ICAN の理事として関わって頂きます。本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした！



ブリス出展する松岡さん

お二人とも、今後のご活躍をお祈りいたします！

～新しいスタッフのご紹介～

マニラ事務局に新しく2名の日本人スタッフが加わりました。野村幸代さんと井川定一さんです。野村さんはフィリピンで10年以上暮らされていて、フィリピンに関する知識も、NGOでの勤務経験も大変豊富です。マニラ事務局の責任者として活躍しています。井川さんは地域開発を大学院で学ばれていてタガログ語を流暢に話されます。パヤタスのお母さんたちやフィリピン人スタッフに溶け込んで活動しています。お二人とも、持ち前の洞察力と行動力で、新しいアイデアを次々と提案し、実践しています。



マニラ事務局の新しいスタッフのお二人

日本事務局にも新しく2名のスタッフが加わりました。主に会計を担当する起橋美智子さんと、日本国内での活動(国際理解教育、フェアトレード)を担当する希代翔さんです。起橋さんは、積極的に建設的な提案をし、会計だけでなく、事務局の仕事全般をサポートしています。また、フェアトレードの販売促進のためにも積極的にイベント情報を取って来たり、お店に出向いたりしています。希代さんは、持ち前の明るさでボランティアのみなさんをうまくコーディネートし、ボランティアチームの意見を取り入れながらワークショップやスタディツアーの企画を練っています。

新しいスタッフと共に、今後の活動を充実させていけるよう、頑張ります！

ICAN の新ロゴ決定！

今回、ICAN の新しいロゴを公募し、メーリングリストや WEB で皆様から投票していただいた結果、新しいロゴが決定しました！

これを作成して下さったのは、名古屋市在住の福島道子さんです。ロゴは、ICAN のキャッチコピーでもある、“暖かい気持ちを手から手へ”をイメージさせるような温かさが表れているものです。

この会報の表紙からロゴをリニューアルさせていただくことになりました。

福島さん、ありがとうございました！



ホームページが新しくなりました！

公式ホームページがリニューアルしました！ また、新しく、日本事務局の日記、マニラ事務局の日記が登場。それぞれの事務局の今を、ほぼ毎日情報発信しています。ICAN のプログラムの紹介やマニラと日本事務局の日々の様子、スタッフやボランティアさんの紹介など、たくさん話題が上っています。応援メッセージもお待ちしております。是非みなさま、一度お越しください！

ICAN 公式 HP	URL	http://www.ican.or.jp/
日本事務局の日記(ブログ)	URL	http://plaza.rakuten.co.jp/icannagoya/
マニラ事務局の日記(ブログ)	URL	http://blogs.yahoo.co.jp/icanmanilaoffice/

～ イベント情報 ～

国際理解教育関連
フェアトレード関連

*各イベントの詳細のお問合せは事務局(052-582-2244)まで。

5月

国際理解ワークショップ

5/22(日) 13:30～ エコライフプラザ

国際理解教育連続講座 第1回

『What's 国際理解教育? フィリピンとはどんな国?』

5/28(土) 13:30～ NPO プラザなごや4F

フィリピンフェスティバル ブース出展

5/29(日) 10:00～ 名古屋国際センター

国際理解海外研修・

スタディツアー参加者募集

今年の夏も下記のとおり、国際理解海外研修とスタディツアーを実施します。国際協力の現場を訪れ、フィリピンから学ぶツアーには是非参加しませんか？

ツアーのスケジュールの詳細は現在調整中です。

スタディツアー 8/1(月)～8/9(火)

国際理解海外研修 8/17(水)～8/25(木)

詳細等は、事務局までお問合せください。

6月

地球市民フェスタ

6/4(土) 現場に行こうスタディツアー受入

6/5(日) ブース出展・スタディツアー説明会

名大祭

6/4(土) 10:00～ 名古屋大学

国際理解教育連続講座 第2回

『体感! フィリピンのある家庭 貧困から見えるもの』

6/11(土) 13:30～ NPO プラザなごや4F

無料健康相談会 ブース出展

6/12(日) 有松

国際理解ワークショップ in オゾン

6/19(日) 14:00～ 大曽根 オゾン

国際理解教育連続講座 第3回

『グローバル化の良し悪し

日本とフィリピンのつながり』

6/25(土) 13:30～ NPO プラザなごや4F

*またHPでも随時イベント情報を掲載していきます。よろしくお願い致します。

初心者の為のフィリピン講座～

学校編

Vol.5

里村京子(理事、元青年海外協力隊)

< フィリピンの学校制度 >

フィリピンは今は夏休みです。フィリピンで一番暑いのは3月、4月、5月。3月の終わりごろに卒業式を行い。その後4月、5月が長い夏休み、新学年は6月に始まります。

フィリピンには中学校はなく、小学校6年、高校4年の後大学に進みます。授業料は無料ですが、学校管理費や遠足代、交通費がないために学校に通えない子どもがたくさんいます。

教科書も無償で配布されることになっていますが、実際には学校にある3冊の教科書を生徒300人で共有していることもあります。

小学校は義務教育ですが、成績が足りないと留年もします。兄弟が多いと1年おきに順番で学校に通うこともあるし、子どもが自分で働いて学費を貯めてから学校に通う場合もあるので、教室にはいろいろな年齢の子どもがいます。35歳の高校生もいます。「日本ではだいたいみんな同じ年齢の子どもと一緒に勉強しているよ」と、言うところ「なんで?」と、逆に驚かれてしまいました。確かに同じ年である必要はないですね。。。

< フィリピンの学校設備 >

私がフィリピンの学校に行って驚いたことは、学校によって施設や設備がぜんぜん違うことです。コンクリートの校舎を持つ学校もあれば、竹で作った教室しかない学校もあります。左の写真がフィリピンの一般的な高校、右が校舎を竹で作った学校です。



コンクリートでできた校舎



竹でできた校舎

この竹でできた教室が私は好きでした。明るくて風通しがよいので気持ちがいい!(雨が降ると大変ですが…)。コンクリートの教室で電気がないと暗くて暑いのです。ちなみにICANが支援しているパヤタスには、3階建ての立派な校舎の小学校があります。生徒の人数が多いので学年によって午前と午後に授業を行う2部制です。電気もあります。

私が実験で使う材料を抱えて学校に行くと、必ず生徒が数人駆け寄ってきて荷物を持ってくれたり、傘をさして日陰を作りながら歩いてくれたりしました。はじめのうちは申し訳なくて「大丈夫、大丈夫」と、断っていましたが、断ると生徒の表情は曇り、「ありがとう」と応じると満面の笑顔が返ってきます。

設備の差はありますが、優しさや笑顔があふれる素敵な学校ばかりです。

新規会員、会員継続者、寄付者のご紹介

(2004年12月20日～2005年5月8日)(敬称略)

<p>新規会員</p>	<p>一般会員 里親会員 山村会員</p>	<p>長町諭さん、石黒景子さん、大久保正弘さん、服部君江さん 笹原香織さん、服部君江さん、福富孝子さん、岩館正了さん 岡本栄一さん、 大久保正弘さん</p>
<p>継続会員</p> <p>里親会員 秋山宗一さん、浅井一郎さん、朝倉陽さん、浅見昌一さん 飯塚光子さん、市川洋子さん、伊東伸明さん、伊藤みどりさん 内海眞子さん、江崎順子さん、江澤貴美さん、太田美佐子さん 大西穰さん、小野維人さん、小野寺和夫さん、片岡惇子さん、 亀岳中学校生徒会 北村清幸さん、北元正美さん 木村三男さん、桑原暁子さん、小山明彦さん、坂本世津夫さん 佐藤雅美さん、澤田裕美子さん、清水満夫さん、関徹さん 関理江子さん、高沢美和子さん、滝映子さん、竹田孝行さん 武田康彦さん、竹本弘美さん、田島利晃さん、多昌広治さん 田中郁夫さん、田中明美さん、土森正昭さん、寺田達志さん 中村希さん、西崎裕雅さん、野口晶子さん、野口繁雄さん 萩原勝さん、長谷川美穂子さん、花房範子さん、馬場正樹さん 濱田こはるさん、林國博さん、林和慶さん、林ますみさん 速水美智子さん、細野富美枝さん、松下文彦さん、 松島敏江さん、三村昇さん、三村和子さん、安島秀樹さん 山口優姫さん、山田新吾さん、山田観千さん、吉井浩一郎さん (以上 62 名)</p> <p>給食会員 垣内あいさん、片岡惇子さん、木村三男さん、河野亮さん 武田康彦さん、西田秀雄さん、馬場正樹さん、 細野富美枝さん、山田幸正さん (以上 9 名)</p>		<p>パヤタス会員 伊藤伸明さん、木村三男さん、桑原茂さん 垣内あいさん、片岡惇子さん、田中正之さん (以上 6 名)</p> <p>山村会員 片岡惇子さん、木村三男さん、河野亮さん 龍田シズさん (以上 4 名)</p> <p>一般会員 飯島洋さん、加賀桂子さん、畔柳東一さん 河野亮さん、佐保克彦さん、澤井美智子さん 寺田達志さん、西田秀雄さん、野村博史さん 細野富美枝さん、向江秀之さん 山田幸正さん (以上 12 名)</p> <p>維持会員 伊藤伸明さん、熊谷晃子さん、河野亮さん 田中正之さん、西崎淳子さん (以上 5 名)</p>
<p>ご寄付 林ますみさん、小倉笑美子さん、服部英子さん、鈴木一成さん、大島さん、平子悟さん、川瀬さん、 松島正輝さん、大野禮子さん、坂本世津男さん、マニラ日本人学校のみなさん、長谷川美穂子さん、 内田隆・由紀子さん、風間公一さん、滝映子さん、高浜中学校のみなさん、梅村祐二さん、武田剛さん 杉戸肇さん、澤田裕美子さん、出浦裕次郎さん、鈴木雅子さん、小山哲司さん、山田観千さん、大西穰さん 長町諭さん、加藤孝志さん、佐々木恒栄さん、岡村芳郎さん、澤井勇氣さん、龍田シズさん、浅見昌一さん 岡田喜美江さん、土森正昭さん、光陵高校、河畑聡さん、岩本としゆきさん、関徹さん、徳永敬さん</p>		
<p>ご協力者</p> <p>文房具寄付 石山中学校生徒会のみなさん、福富幸恵さん 東田小学校のみなさん、城北中学校のみなさん 橋本満さん、 未使用テレカ 集まったご寄付 18,250 円 鈴木雅子さん、古畑生子さん、赤松和代さん 加賀桂子さん</p>	<p>書き損じ葉書 集まったご寄付 7,326 円 加賀桂子さん、白子高校のみなさん、小熊広也さん 古畑生子さん、對馬由美子さん、青山フキヨさん 葉書寄付 集まったご寄付 4,410 円 加賀桂子さん、白子高校のみなさん、小熊広也さん 商品券寄付 集まったご寄付 5,000 円 福富幸恵さん</p> <p>ご協力、ありがとうございました。</p>	

<< 会員になって ICAN の活動を支えよう! >>

(ICAN の活動は会費と寄付金で支えられています。事業会費・事業寄付金は 20%が運営費、80%が事業費となります。正会費、運営寄付金は全て運営費となります。)

(1) 貧困家庭のための里親制度 (年会費 1 万 8 千円)

一定収入に満たない家庭の子どもに学費・学用品費・医療費等を支援します。1対1の支援です。

(2) ミンダナオの小学校での給食提供 (年会費 6 千円)

少数民族の小学校で、先生や保護者の方と一緒に、栄養不良児に給食を提供しています。

(3) パヤタス支援 (年会費 6 千円)

ごみ拾いで生計を立てている住民が多く暮らすパヤタスで、職業訓練や医療支援を行っています。

(4) 山村教育支援 (年会費 6 千円)

山村サンイシロで、先住民のために、ハイスクール生等の教育支援を行っています。

(5) ICAN の運営等の活動全般へのご支援

(一般会費 3 千円, 維持会費 1 万円)

活動全般を支えて頂く正会員です。翻訳や事務局を手伝って頂くボランティアも募集しています。

会費と寄付金の振込先

- ・郵便振替) NPO 法人 ICAN, 00850-6-78233
- ・UFJ 銀行) 名古屋駅前支店 普通 2361021 NPO 法人 ICAN (エヌピーオーホウジンアイキャン)
- ・E-BANK) 支店番号 210 口座番号 7001258 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター
- ・JAPANNET BANK) 店番号 001 口座番号 4005809 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター

ボランティア大募集!

ICANでは、活動全般をサポートしていただく事務局ボランティアを始め、以下の様々なボランティアを募集しています。(詳しくは日本事務局までお問合せ下さい。)

みなさまの得意な分野、興味のある分野でICANの活動を実践しませんか?

事務局ボランティア

翻訳ボランティア

国際理解教育ボランティアチーム「サマカナ」

会報編集ボランティア

WEB管理・維持ボランティア

フェアトレード促進ボランティア

スタディツアー企画ボランティア

ブース出展やイベント参加予定がありますので、是非みなさまご参加ください!

お問い合わせは、ICAN 日本事務局まで (受付時間: 火~土 13時-17時)

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-20-11 NPO プラザなごや2F

TEL&FAX (052) 582 2244 E-mail: info@ican.or.jp ホームページ: <http://www.ican.or.jp/>